

# NHKテレビ、新聞で有名になった CMSC 帯広

## 北海道ジュニアシリーズ第6戦 第5回CMSC帯広 コルトダートトライアル

北海道ジュニアシリーズ第6戦として、「第5回CMSC帯広コルトダートトライアル」が8月20日に士幌町下居辺のイーストジャパン・オフロードスタジアムで行われた。前日までは台風の影響で雨が降り続き、コース整備には大変な苦勞をさせられたが、その甲斐あってか、当日は最高の天気、絶好のトライアル日和りとなった。

競技の方は各クラスともレベルの高い戦いとなり、とくにAIIIクラスはギャランVSレガシィに注目が集まった。1トライ目、優勝候補筆頭の長谷川ギャランはパイロン3本を蹴散らし、トップをジュニアシリーズ・ポイントリーダーの片山ギャランに譲る。続く2トライ目は、まずレガシィがベストタイムを更新し、ギャラン勢がこれを追うかたちになった。長谷川ギャランはあっさりレガシィをかかわしたかに見えたが、再び、パイロンタッチ。井馬、伊吹の両ギャランもわずかにおよびず、レガシィ優勝か!?!と思われた。

しかし、最終ゼッケンの片山ギャランはクロスミッションの意地を見せて2トライ目もベストタイム。見事にクラス優勝を奪った。

なお、今回のダートラは前日にNHKテレビで紹介されたほか、当日の結果は地元新聞に写真入りで掲載され、われわれも大満足だった。

(CMSC帯広 青沼達也)



▲AIIIクラス優勝の片山宗浩選手、ギャラン勢の意地を見せた豪快な走りだった。



▲パイロンタッチがなければクラス2位だったのに……惜しかった長谷川光弘選手



▲AIIIクラス3位、三菱車2位は井馬隆光選手

# 雨と泥のなか、初主催のダートトライアル

## CMSC仙台 ダートトライアル

CMSC仙台初めてのダートトライアルは、台風による雨と風のまっただなか、全員がビショビショになりながら行われました。

8月6日の朝、集合したのは55台とまずまず。しかし、三菱自工から木全氏の応援、CMSC福島からは菅野氏のお手伝いと、われわれにとっては非常に心強いサポートがあり、いよいよ競技開始!

前日にコース設定していたものの、豪雨のために急きょコース変更を行ったりしたが、1トライ目はほとんどの参加者がミスコースなくクリア。でも、2トライ目はさらに強くなる雨足の中で行われ、川のようになったコースでスタックするエントラントが続出でした。

まさに、参加者もオフィシャルもビチャビチャになりながらの、文字通りのダートトライアル。しかし、戦い終わって表彰式で賞品を手にした人たちは、感激もひとしおといった様子。CMSC仙台のオフィシャルはというと「来年はジムカーナでガンバろう!」と決意したのでした。

参加してくれた皆さんと、オフィシャルに熱い拍手を送ります。「おつかれさまでした~」

(CMSC仙台 初田昌子)



▲ドジャ降り雨のなかでドロドロのダートトラック。クするクルマも多かった。

▼それでも勝つのは気持ちがいい! こちらはチャンピオンシャワーの雨



▲三菱自工から木全氏、CMSC福島からは菅野氏がそれぞれ応援に駆けつけて下さった。

# 5年ぶりに主催のラリーは好天に恵まれ大盛況

## JAF中国四国地方

### 選手権第4戦

### '89CMSCダイヤスターラリー

中国・四国地方選手権ラリー第4戦として、CMSC香川主催の「'89CMSCダイヤスターラリー」が開催された。一時は年間2戦のラリーを開催していたが、車両規定の変更で開催を見合わせていたため、CMSC香川としては5年ぶりのラリーとなった。

参加台数はAクラス4台、Bクラス22台、Cクラス13台の合計39台、このうち、三菱車はギャラン8台、ミラージュ4台だった。コースは香川県内の約200km。開催日が夏休みの最中(8月19、20日)ということもあって、アットホームなムードでラリーを行うことができた。

また、コース設定の方では、2ステージのうち6カ所のSSを地元の協力を得て設定することができたほか、6カ所の申告チェックにより、ドライバーにもナビゲーターにも満足してもらえる内容になった。

当日は天候にも恵まれ、各エントラントは思う存分にターマックとダートを改めていた。とくに、SSではハッスルブレーも見られ、ラリーを盛り上げてくれた。結果は河野夫妻組のギャランがSSでのマージンを生かしてCクラス優勝。Cクラスは入賞6位までのうち5台がギャランだった。

Bクラスでは足立/小早川組ミラージュが健闘したが、惜しくもトップと14ポイント差、2位とは3ポイント差で3位となった。Aクラスは今川/和田組のマーチが優勝した。リタイアは6台だった。

CMSC香川としては久々のラリー開催ということで、オフィシャル面にも心配もあったが、地元の他クラブやOBの協力もあり、無事にイベントを終える



ことができた。後援して下さった香川三菱、讃岐三菱、三菱自工、ラリーアート各社さんも含め、この場をお借りしてお礼を申し上げます。

(CMSC香川 平尾高王)



# '89CMSCチャレンジカップ、いよいよ終盤戦

今シーズンのチャレンジカップは、前半を終了した時点でクラブ別獲得ポイントは、福島がダントツでトップを走り、帯広、山形と続いている。しかし、山形、青森その他の集計が遅れているクラブがあるので判断のしにくいところである。

ラリー・ナビゲーター部門では福島の佐藤忠宣が頑張り、大量得点を獲得し他を圧倒している。

スラローム部門はポイントが均衡しているうえ、イベント数も多く、後半の頑張り次第でまだまだなんともいえないところである。レース部門では山形

の小川日出生がほぼチャンプを決定している。他のクラブ員も後半戦に向けてさらに頑張ってもらいたい。

#### ●クラブ別獲得ポイント

	1~5月	6~8月	9~11月	12月	合計
帯広	355	310			665
札幌	33	0			33
青森	0	0			0
山形	404	0			404
仙台	6	0			6
福島	470	423			893
栃木	34	39			73
群馬	225	0			225
埼玉	51	72			123
千葉	0	0			0
岐阜	112	107			219
島根	157	0			157
香川	335	248			583

#### ●ラリー・ドライバー部門

渡辺俊昭	山形	86
小山和邦	埼玉	76
佐々木伸之	札幌	24
佐藤一彦	埼玉	21
菅野茂	福島	16
長沢太郎	埼玉	12
塩野谷浩光	群馬	12
野村芳久	札幌	12
粥川秀昭	岐阜	8
奥山善宏	札幌	6

#### ●ラリー・ナビゲーター部門

佐藤忠宣	福島	242
蔵本隆充	埼玉	76
瀬々徹	埼玉	21
若林和昭	群馬	20
中村洋次	帯広	11
伊藤順子	岐阜	8
横山浩	札幌	6
巻口実	札幌	3
寺川昇	埼玉	1
安藤朋司	岐阜	1

#### ●スラローム部門

青沼達也	帯広	264
高橋正喜	福島	240
須田行雄	福島	231
高竹優之	香川	214
榎田正文	岐阜	212
荒井信介	群馬	152
塚原勇	福島	134
井馬隆光	帯広	126
伊吹浩明	帯広	124
白川修	香川	98

#### ●レース部門

小川日出生	山形	164
郡司義光	栃木	65
竹田恒生	山形	36
東江誠	山形	34
川口法行	栃木	21
山口茂	栃木	17
蒲原芽里	埼玉	10
木村政義	山形	6
相沢いく	埼玉	2
佐藤政一	仙台	2

#### ●ポイントのつけ方

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	11位以下	リタイア
ポイント	40	30	24	20	16	12	10	8	6	4	2	0
	20	15	12	10	8	6	5	4	3	2	1	0

A= ラリー……全日本選手権、JMRC地区最上級シリーズ  
スラローム……全日本スピード行事選手権、地方スピード行事選手権、JMRCシリーズ

レース……全日本選手権、地方選手権、ミラージュカップ

B= それ以外の競技会

※編集部の不手原から、集計ができていないクラブがあることをお詫びいたします。(編集部)  
↑リタイアには予選不通過も含む